

# 各 駅 停 車

回 覧

社会福祉法人 豊田市福祉事業団  
No.29 2009. 6. 10 (季刊)

福祉と障がいのある方を理解するための情報紙

## 障がい者総合支援センター 第二ひまわり

第二ひまわりでは、知的障がいのある人たちが家庭から通いながら、安定した生活を送れる環境を確保するとともに、周りの人たちから支援を受け、一人ひとりが、少しでもその人らしく社会参加し、充実した生活ができるようにすることを目指しています。

(豊田市平芝町5-13 TEL0565-31-3370)

### 活動紹介

第二ひまわりでは、活動の一つとして工賃作業に力を入れて取り組んでいます。

#### 五 賃 作 業

利用者の方の個性や能力に合った作業・仕事（生産活動）を集団の中で行うことで、同じ作業グループに仲間意識が生まれ、仕事に対する「やりがい」と「達成感」を得ています。今回は、6つある作業班の中の2つの班の活動を紹介します。

#### 紙すきグループ

紙すきグループでは、牛乳パック・不要になった点字図書を原料にハガキ・名刺等を作成しています。作成にはたくさんの工程があり、メンバー全員が自信と責任を持って取り組んでいるので、暖かな風合いの作品が出来上がります。

今年は、うちわやお年玉袋の作成にもチャレンジしていきたいと思いますので、興味をお持ちの方は、ぜひ第二ひまわり紙すきグループまでご連絡を!!  
(TEL0565-31-3370)



紙すきグループの力作です！

#### パン販売



第二ひまわりでは、平成18年度より利用者の方のさらなる可能性を広げていくとともに、作業の新たな方向性として「どのようにしたら工賃作業を通じて地域や社会とのつながりが持てるか」を考えてきました。そこで、「けやきワークス利用者が作ったパンを第二ひまわり利用者が出張販売をする」という活動を始めました。

現在では高齢者施設でパンの販売を行っています。月に一度の活動ではありますが、利用者は、販売者として求められる接客（挨拶、お金・商品の受け渡し）の向上を図っています。

商品を扱う販売員として活躍することで、地域の方にも「障がい者」という枠を超えて認めてもらい、地域社会の一員となることにつながっています。

今後も第二ひまわりのパン販売は「販売員が素敵だからもう一度買いたい」と思っただけのようなサービスを目指し、少しでも多くの人に『第二ひまわり』を知っていただけるように、努力していきます。



パン販売の様子です！



## 「作業を通じて見る地域とのつながり」

第二ひまわりでは、利用者の方の個性や特性に合わせた工賃作業として、紙すき創作やパン販売、野菜や花の栽培、空き缶潰し、縫製製品作り、車の部品作り等に力を入れて取り組んでいます。

工賃作業の一番の目的は、作業を通じて落ち着いて過ごせる時間を増やすことだと考えています。そのためには、常に安定した作業量を供給し続けることが重要です。作業を始めた頃は、作業量も安定せず手を休めてしまう利用者の方も多かったのですが、作業量が安定してくると集中力も増し、作業能率も大幅に上がりました。その積み重ねの結果、昨年嬉しい出来事がありました。毎年利用者の方に支給している工賃の額が、初めて一人当たり1万円を超えたのです。（昨年度までは一人当たり8千円～9千円でした。）

地域の自動車会社から組み立て用の部品を頂いたり、第二ひまわりで栽培した野菜や、けやきワークスで作ったパンをお店や施設に納品させて頂いています。また去年は、毎年交流を行っている小学校から空き缶を頂いたり、豊田市内の会社から切手のモザイク画に使う古切手を頂いたりすることで、安定した作業量の確保ができました。

このような地域の方々のご支援のおかげで、初めて工賃支給額が1万円を超えることができたのです。第二ひまわりでは、今後も更に地域の方たちと交流を図れたらと思っています。空き缶や使用済みの牛乳パックがありましたら、ぜひ第二ひまわりまでお持ち頂けると幸いです。ボランティアの方も随時募集中なので、第二ひまわりに興味・関心をお持ちの方のお越しをお待ちしております。

(第二ひまわり 支援員)

## 平成20年度 豊田市福祉事業団総括事業報告 (抜粋)

平成20年度貸借対照表 平成21年3月31日現在(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	130,522,112	流動負債	108,851,118
固定資産	152,103,480	固定負債	136,103,480
		負債の合計	244,954,598
		純資産の部	
		基本金	10,000,000
		その他の積立金	6,000,000
		次期繰越活動収支差額	21,670,994
		純資産の部合計	37,670,994
資産の部合計	282,625,592	負債及び純資産の部合計	282,625,592

法人の適正な経営と受託施設の効率的な運営に努めました。

小児・成人両部門の一体的な取り組みとして、成人障がい者への健康や医療支援に向けて、新たな仕組みの検討を行いました。

各部門の取り組みは、下記のとおりです。

<小児部門>医療・保健・福祉の専門機能連携のもとに、障がいの早期発見・療育の充実を図るとともに、地域療育の拠点として地域の障がい児と療育関係者等への支援及び研修・啓発に努めました。

<成人部門>各施設の連携により、相談・訓練・就労支援等の総合的専門機能を発揮して、障がい者の生活・就労支援の推進を図りました。

## トピックス (のぞみ診療所)

### 歯科衛生士の溝口理知子さんが学会賞を受賞しました！

第25回日本障害者歯科学会において「知的障がい者施設通所者の肥満と欠損歯数との関連性」という演題の発表が学会賞に輝きました。



授賞式での溝口さん(左)

### 院外処方を始めました。

5月1日より、のぞみ診療所以外の調剤薬局等でお薬を受け取っていただけるようになりました。詳しくはのぞみ診療所の主治医や薬剤師にお問合せください。



編集発行 社会福祉法人 豊田市福祉事業団  
〒471-0062 豊田市西山町2-19  
TEL 0565-32-8980 FAX 0565-32-8987  
E-mail : fukushijigyodan@city.toyota.aichi.jp  
ホームページ : <http://www.fukushijigyodan.toyota.aichi.jp/>